

納戸の収納力 UP

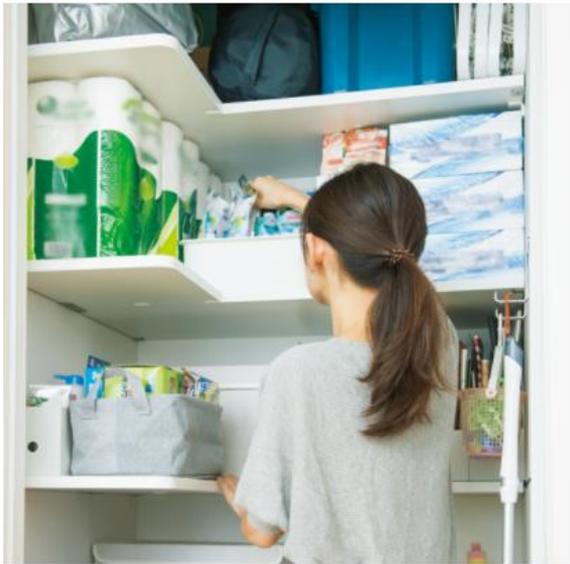
押し入れタイプの納戸を改造

Before



我が家のキッチンに一番近い納戸は横 800 mm, 奥行 1000 mm と比較的サイズは大きいのだが、旧来の押入れの構造で真ん中と上部に棚があるだけで、小さなものの収納に向いていない。また、幅に対して奥行の方が長いので、奥のものが見えない、取れないとなり、使い勝手が悪い。

市販の押入れ収納棚を入れたが(写真中)サイズ (W 500, D 320) が中途半端であまり有効でない。下の段(写真右)は更に使い勝手が悪く、しゃがんでも奥が良く見えない。



「置ける」以上に使いやすい棚

ヴィータス パネルは、収納スペースの奥行きいっぱい棚を設けずに、スペースを有効活用することができます。
L字の棚は、体が一步入るので奥まで見やすく、手も届きやすくなります。

そこでこのようなL字型の棚にすれば
棚面積を有効に使えと思った。
これは市販品(リクシル ヴィータスパネル)
だが価格が高く工事費も別途必要となる。
また幅は調整可能だが奥行が最大700mmまで
しか無い。

そこで自作することにした

3R L字使いの棚

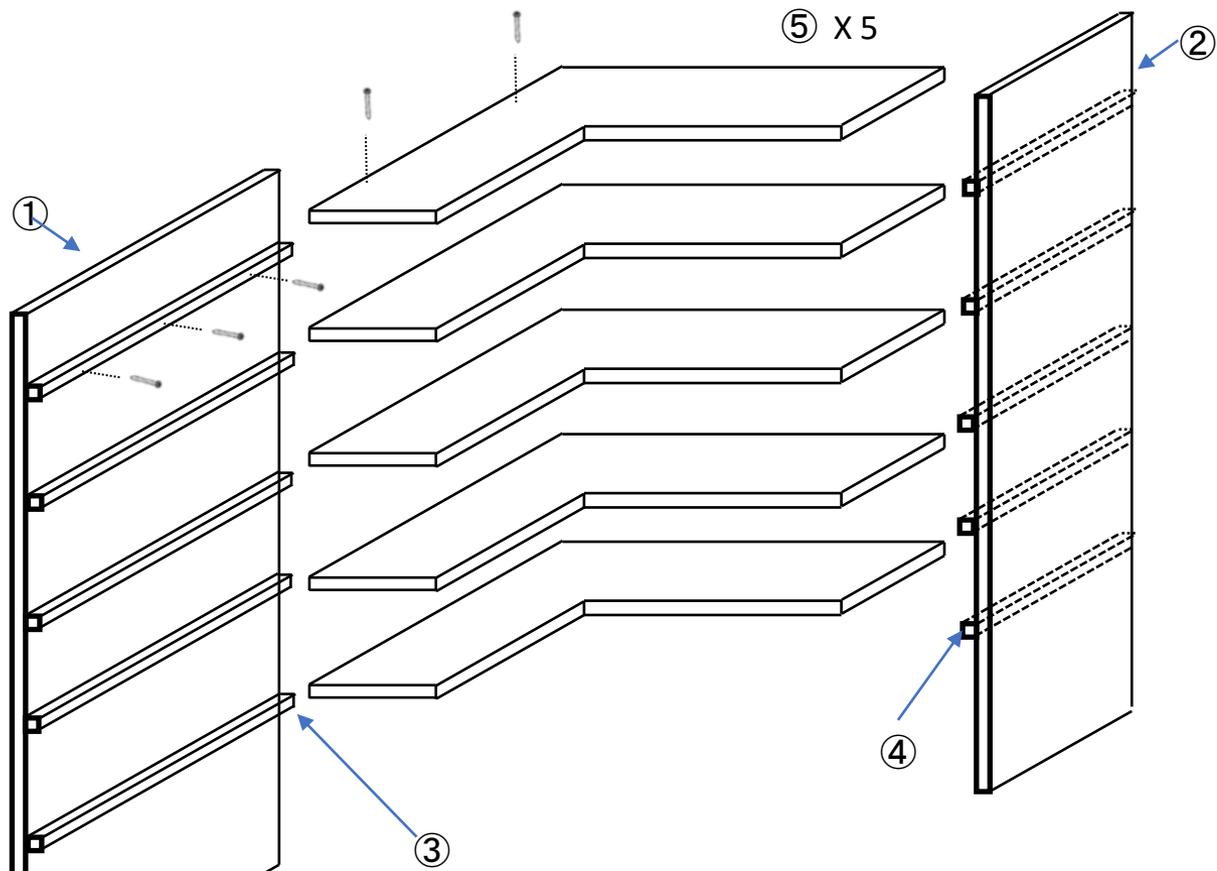


プランNo.

BT601

おすすめ品番	LVP-A-BT601-N-L-YY	
組合せ価格	H 引出しあり	—
	N 引出しなし	¥102,000

明細 P.09



こんな構造にすれば良い。
図面どおりに木材を加工し販売してくれる
ストーリオ(株)に部材を発注した。

<http://www.storio.co.jp/diy/index.htm>

改造・組み立て



部材が届き、早速改造開始。

まず下の棚を外した。(左) この時点でまだ上の棚が残っているので
これも外した(右)

この上の棚を外す時に、よく構造が判らないままノコギリで切ろうとして
釘を挽き、ノコギリの歯をこぼしてしまった。

工具箱の奥にあって10年以上使っていない、くぎ抜き(バール)が大活躍だった。
ここまで結構大変で、この後の組み立てより時間が掛かった。



上下の棚を外し、用意しておいた棚取付用棧を付けた左右の側板を張り付けた。構造上、この時点で内側に倒れなければOKぐらいなので、壁への取付は留める程度で良い。

ただ、下の棚を外した跡が丸見え (写真中) なので、紙を貼って隠した (写真右) 右側の側板も幅 1000 mm で作る手もあったと思った。



棚板を載せながら、ねじ止めしていく。
まず一枚目の棚板がすんなりと入って、ほとんど隙間もなく成功だ。
棚板も 3枚、4枚と順調に入る。

最後の5枚目が多少きつく、サイズを調整しないとだめかと思ったが何とか
ぴたりと収まった。

棚板を栈にねじ止めする際、側板から 10 mm の位置だが、フレキシブルビット
のおかげで真上からきれいにねじ止めできた。

After

1-4段



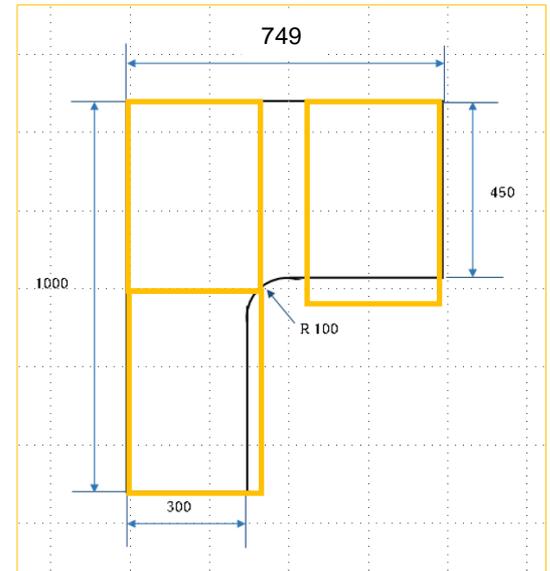
完成したところ。
暗くなりがちな下の段を照らすLED
ライトも付けた (上右)

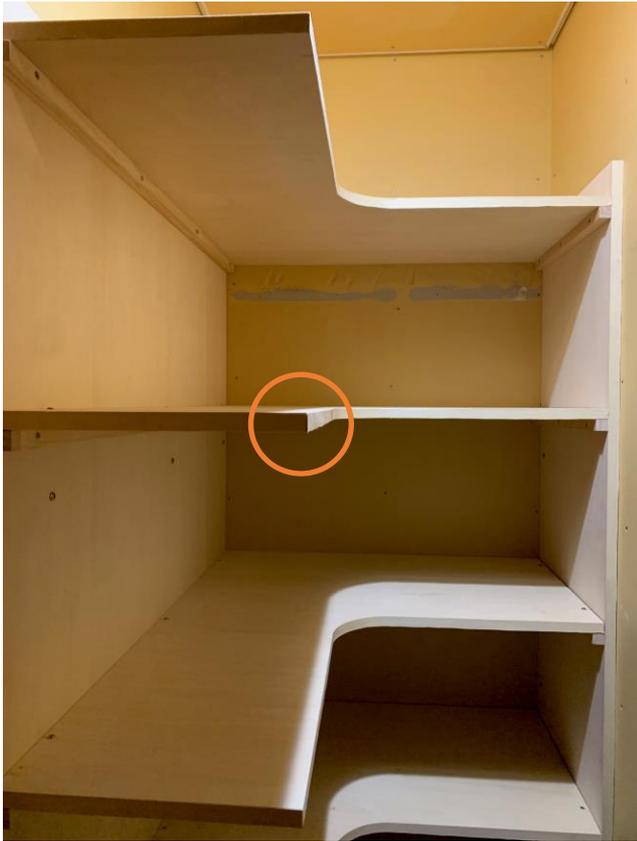
棚一段の高さは 350 mm
トイレットペーパーのパック
が縦に、ワインの瓶や2リッター
ペットボトルも問題なく入る高さ
(下左)
一番下は 410 mm

4-6 段



棚板の面積と、最初のページにある
押し入れ収納棚(オレンジ線)の面積の
比較
収納棚 3個分の面積がある





切り欠いた右手前のスペースは無理なく体が入るだけでなく、必要ならこのように小型の脚立も入る。

失敗点 オレンジの丸で囲った、棚板の角が丁度顔の高さに来る。私は鼻の横、家内は目の高さであり直角にとがっているのは危険。 50 mm 程度の R で丸めるつもり。 設計段階から R を付けておけば良かった。

活躍した道具

釘抜き

作り付けの押入れの棚を外すのに大活躍。
これが無ければ外すのは無理だった
サイズがやや異なるものを二つ使った

フレキシブルビット

棚板を棧にねじ止めする時、側板から
10mm の位置だが、これがあれば
電動ドリルを使って、真上から
ねじ止めできる。

